

提案議題

大腸がん・膀胱がん手術後のケアについて

提案趣旨及び提案施設の状況

近年、各病院では、手術後、10日間程度での退院が多いと聞いております。

このため、病院によっては術後のケアに時間があまり取れず、十分なケアがなされていないケースがあると聞いております。

退院後、ストーマ外来に通院できる人は問題ないと思われそうですが、高齢のためと足の確保のため、遠のいてしまいがちです。

当協会で開催している「社会生活適応訓練講習会」で『外出時の注意』『災害時の注意』『高齢化に伴う問題点』等、オストメイトが抱えている、3大不安を中心にストーマ管理について顧問医および認定看護師を講師にして研修を行っております。

その中で、参加者からは、正しいパウチの交換方法は？公衆浴場での入浴方法は？パウチの選び方は？などなど沢山の質問が出されております。

しかし、講習会に参加される方は問題を解決されて帰られますが、参加されない方は、一生苦労しなければなりません。

私どもは、多くの方から参加していただくために、各市町村の広報紙に掲載していただいております。また、装具の販売店様に依頼して装具の販売時に講習会についてのチラシを配布していただいております。講習会の開催を知らないことから、参加者は大変少なく、実効性に欠けております。

私どもの会員以外の方の多くは、温泉や公衆浴場などでトラブったり、災害時に大変なご苦労をされたと聞いております。

このため、お願いですが、新潟県内の各病院の執刀医および看護師さんから、患者様に「同じ病気の患者会で「雪椿友の会」があるので一度遊びに行ってみてはどうか、参考になる情報がいただけるはずですよ」と一声かけていただけませんか。よろしく願いいたします。